

かおり

vol.
57
November
2017



撮影者／山崎 孝子

理念

私たちは地域の皆様の幸福(しあわせ)に貢献できる社会福祉法人を目指します。

品質方針

顧客満足から顧客感動へ「やさしさ」「真心」「思いやり」で満ち溢れた**心のかおり**のするサービスを目指します。

今回の内容

社会福祉法人制度改革について	02
私たちの地域活動報告	03
介護福祉情報 平成30年度介護報酬改定が行われます	04
各拠点からのお知らせ	
さこ拠点(彦島迫町)	04
たのくび拠点(彦島田の首町)・しおはま拠点(彦島塩浜町)	05
ゆめタウン拠点(長府ゆめタウン)・しおかぜ拠点(彦島迫町)	06
松美会の人財	
私たちが働いています!	07
自宅でできる介護食のススメ(その4)	08

社会福祉法人制度改革について

社会福祉法人制度を大きく改革するため、社会福祉事業、社会福祉行政、さらに社会福祉法人制度等、わが国の社会福祉の基本的事項を定めた社会福祉法の改正法案が平成28年3月31日に成立し、公布されました。

この改革は、福祉サービスの需要が多様化・複雑化して福祉サービスの充実が求められていることから、その基盤を担う社会福祉法人の役割や責務が大きくなっている一方で、内部留保をめぐる問題や一部の不適切な法人運営が指摘されていたことを背景に実施されることとなりました。

この改革により、公益性・非営利性の徹底、国民に対する説明責任及び地域社会への貢献といった社会福祉法人が備えるべき本来の役割を果たすことがこれまで以上に強く求められることとなっています。

今般の法改正は、

福祉サービスの供給体制の整備・充実を図るため、

- 社会福祉法人制度について経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革を進める
- 介護人材の確保を推進するための措置を講ずる

ことを目的に行なわれました。

社会福祉法人制度の改革について、主な改正内容は、

1 経営組織のガバナンスの強化

- 議決機関としての評議員会を必置 等

2 事業運営の透明性の向上

- 財務諸表、現況報告書等の公表にかかる規定の整備 等

3 財務規律の強化(適正かつ公正な支出管理 等)

- 役員報酬基準の作成と公表 等
- 「社会福祉充実残額(再投下財産額)」の明確化
- 「社会福祉充実残額」を保有する法人に対して、社会福祉事業又は公益事業の新規実施・拡充に係る計画の作成を義務付け 等

4 地域における公益的な取り組みを実施する責務

- 社会福祉事業及び公益事業を行なうに当たって、無料または低額な料金で福祉サービスを提供することを責務として規定

5 行政の関与の在り方

- 所轄庁による指導監督の強化、国・都道府県・市の連携 等

の5つとなっています。

当法人におきましても、これらの改正に対応してきました。

- ① **新たな理事・評議員・監事の体制を整えました。**
- ② **求められる情報の公表にかかる規定を整備し、ホームページ等で公開しています。**
- ③ **役員報酬額はこれまでどおりで規定を作成しました。**

これまで、その時々地域福祉ニーズに対応すべく、福祉サービス拠点の整備をしてきており、残念ながら「社会福祉充実残額」は発生しませんでした。

- ④ **地域社会への貢献として、「地域における公益的な取組」を実施してきました。**

地域活動推進委員会を立ち上げ彦島を2つのエリアに分けて地域の皆さまへのお役立ちを目指すさまざまな取り組みを展開しています。取り組みの一部を次ページでご紹介します。

さらには、下関市内の有志社会福祉法人が立ち上げた「下関市社会福祉法人地域公益活動推進協議会」に参画し、「ふくし生活SOS事業」などを実施していきます。地域の皆さまから必要とされる社会福祉法人として、松美会アイユウの苑・しおかぜの里があってよかったと実感していただけるよう尽力してまいります。



私たちの地域活動報告

～社会福祉法人に求められる「地域における公益的な取組み」～



誰もができる地域活動ではなく、福祉の専門家が多数在籍する社会福祉法人だからこそできる「地域活動」は何なのか？地域から求められている役割は何なのか？私たち松美会だからこそできる「地域活動」とは何なのか？を念頭に私たちは以下のような「地域における公益的な取組み」をこれまでも行ってきました。その一部をご紹介します。

介護保険説明会

自治会からご依頼があった際に公民館などで介護保険などについての説明をさせて頂いています。今年度は現在までに2か所。介護保険制度のみならず、『特養と有料老人ホームのサービスの違い』や『いつまでも地域(自宅)で住み続けるためのコツ』などご要望に応じた説明も行っています。



徘徊者搜索模擬訓練

過去に彦島内の2つの地区で実施。認知症高齢者を地域で理解し支える取り組みを地域包括支援センターと一緒に実施しています。今年度11月にも新たな地区で実施予定です。



オレンジ喫茶ひこしま

月に1回(第1水曜日)しおはま拠点の喫茶スペースで開催しています。認知症カフェである「オレンジ喫茶ひこしま」は、認知症の人やその家族・知人、介護・医療などの専門職、そして、認知症について気になる地域の皆様などが気楽に集まり、お茶を飲みながら和やかな雰囲気のもと交流を楽しむ場所となっています。



こども福祉体験教室

小学生を中心に毎年夏休みに実施しています。探検と称した施設見学や高齢者疑似体験セットの活用など。教室に参加した小学生が夏休みの自由研究として提出したとの声も聞けるなど開催する私たちにとってもやりがいに繋がる取組みの一つです。



出張!ふくし体験教室

彦島内の小学校とタイアップし、小学校側の空いた時間、空いた空間をお借りして私たちが学校に出向く福祉体験教室を行っています。遊び心を取り入れた「記憶に残る」学びをテーマに、子供達と一緒に楽しみながら教室を開いています。



展示ギャラリー開放

施設を地域に開放する一環として地域にお住いの方の作品を施設内に一定期間展示しています。地域にはたくさんの多趣味の方がいらっしゃいます。そんな皆様の活躍を紹介する場として、そしてその作品を地域の多くの方が観に来る場として施設がお役に立てればと思います。



健康体操教室

「いつまでも自宅で元気に過ごす」、「健康寿命を延ばしたい」。そんな地域の方のニーズをお聞きしたことがきっかけで、専門家による介護予防を目的とした「健康体操教室」を月に2回実施しています。地域の皆様からは「自宅から通える場所にこんな教室があって良かった」「無料だからありがたい」「それほどきつくないので続けられそう」など好評いただいています。



グラウンドゴルフ大会 (アイユウの苑杯)

“彦島にお住いの方が気軽に参加できる大会”をモットーに年に2回開催しています。毎回150名程度の元気な皆様の参加があります。このアイユウの苑杯が地域の皆様の健康増進と親交を深める機会になることを願い、これからも続けていきたいと思っています。



ダブルケア相談会

子育て世代が、親の介護もする“ダブルケア”が社会的問題になっています。私たちは高齢者福祉サービスと保育サービスを提供していることから、それらを複合的な問題と捉え解決できる専門家がいます。保育園の園舎見学会にあわせ、ダブルケアに関わらず相談会を開催しています。

これらの他にも「ぞうきんの進呈活動」や「地域の防災訓練」、「認知症サポーター養成講座」など今まで松美会が地域の皆様と一緒にやってきた活動は様々です。社会福祉法人の責務としてこれからも「できること」を「確実に」行っていけたらと思います。

地域活動推進委員会
委員長 高下 康司

各拠点からの
お知らせ

さこ

拠点
(彦島迫町)

訪問看護に求められること

医療の高度化により、病を抱えながら自宅で生活できるご利用者様が増えてきました。以前は、長く病院に入院することができましたが、現在は入院期間の短縮を図るため、すぐに退院や転院が行われる傾向にあります。その結果、在宅医療や在宅介護を必要とされる方が増え、訪問看護に対する期待も大きくなっています。

当事業所は、看護師3名が所属する訪問看護ステーションで、24時間365日連絡が取れ、緊急時の対応も可能な事業所です。年間の緊急訪問看護加算対応者は、平成27年度が265人、平成28年度が232人となっています。緊急時は、病院と連携し、ご利用者様が、在宅生活をスムーズに送れるように調整を行います。また、状態を的確に医師に伝えることで、迅速な医療が提供できるように努めています。

ご自宅でのターミナル(末期)状態の方の訪問は、年間10名前後あります。ギリギリまでご自宅での生活を続けた後、最期は病院に緊急搬送され病院でお亡くなりになる方もいますが、ご自宅で最期を迎えたご利用者様もいらっしゃいます。平成27年度は、12名の方の在宅ターミナルの訪問をさせていただき、5名の方がご自宅でお亡くなりになりました。平成28年度は、7名の方の在宅ターミナルの訪問をさせていただき、2名の方がご自宅でお亡くなりになりました。

看取りは医療的ケアに加え、“相手の心に寄り添う”心のケアも重要となります。ご利用者様、ご家族様から、「看護師さんが、来てくれるだけで安心します」と、言っていただけるような、心の支えとなる看護をこれからも目指して行きたいと思えます。

アイユウの苑 訪問看護サービス
管理者 岡田千恵子



介護福祉情報

平成30年度 介護報酬改定が行われます

2000年に誕生した「高齢者の介護を社会全体で支える」介護保険制度も18年目を迎えています。制度では、3年ごとの介護報酬(給付単価)の改定が定められており、2018年6回目の介護報酬改定が行われます。この改定は、2006年2012年に続く、診療報酬との同時改定となります。

高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することに配慮し、サービスを必要とする方に必要なサービスが提供されるようにする

ことを目的に、

I. 地域包括ケアシステムの深化・推進

II. 介護保険制度の持続可能性の確保

を推し進めるようです。具体的には、

- ① 自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化・財政的インセンティブの付与
- ② 介護療養型医療施設の廃止に伴う転換先となる新たな施設サービス「介護医療院」の創設
- ③ 地域共生社会の実現に向けた「共生型サービス」の創設
- ④ 自己負担2割負担者のうち、特に所得の高い層の負担割合の3割への引き上げ
- ⑤ 第2号被保険者の介護納付金徴収方法の「総報酬割」(報酬額に比例した負担)への移行

が盛り込まれています。医療保険制度改革と足並みをそろえながら「在宅医療・中重度介護」に力点がおかれ、「重点化・効率化」のうたい文句のなかで、事業者にとっても、ご利用者様にとっても厳しい改正が行われると思われれます。

これまでの介護報酬改定率は、

年度	2002	2006	2009	2012	2015
	▲2.3%	▲2.4%	+3.0%	+1.2%	▲2.27%

(2012は処遇改善交付金分2.0%が報酬本体に組み入れられたため、実質は▲0.8%)

となっており、度重なるマイナス改定により、介護保険事業者の経営状況は極めて厳しく、3割を超える特別養護老人ホームが赤字となっています。介護報酬が引き上げられると、その分事業者は収入が増え、引き下げられると事業者の収入は減少します。収入が減少しても、職員処遇を低下させることはできず、介護職員の確保、育成、定着の観点から、給与費割合は上昇していきます。一方、介護報酬が引き上げられるとご利用者様の負担も増え、事業者とご利用者様の利害関係が一致しないことが難しい問題です。このまま介護報酬が引き上げられないと、介護サービスの量的・質的確保が困難になることをご理解いただきますようお願いいたします。

介護保険制度そのものの持続可能性と併せて、将来を見据えた介護人材の確保のための財源の確保として介護報酬プラス改定が必要です。

法人事務局
事務局長 辻中浩司

各拠点からのお知らせ

たのくび

拠点
(彦島田の首町)



お一人おひとりの豊かな暮らしを目指して

デイサービスセンターしおはまでは、お一人おひとりの想いを大切に、機能訓練充実への取り組みを行っています。

ご利用される方の中には、外出し同年代の方との関わりを持つことや、家事などの役割を持つことで生きいきとした生活を送りたい方、作品づくりを通じて指先を使いたい方、体操や園芸・畑仕事などに取り組み、体を動かしたい方、計算や漢字、図形の問題・囲碁や将棋などで頭を使いたい方など、お一人おひとり違った目的を持たれています。

定員15名と少人数制だからこそ、よりご希望や目的に添ったサービスを提供できるのではないかと考えています。そのようなサービスを提供させていただくことで、ご自分の役割を持ちながら、可能な限りご自宅にて暮らし続けることができるのではないかと考えています。また、外出し社会との関わりを持つこととなり、心身機能の維持やご家族様の負担軽減を図ることができるのではないかと考えています。

ご本人様を取り巻く環境へのアプローチとしても『地域

の方の役に立ちたい』『地域へ貢献したい』との思いから、ご寄付いただいたタオルを利用し、「地域の小学生に使っていただく」を目標に日々の機能訓練の一環としてぞうきん作りに取り組みまれ、多くの手作りぞうきんを小学校へ寄付することができました。

入浴・食事などの日常生活上の支援と、お一人おひとりの想いや目的に添った機能訓練を提供することを、これからも取り組み続けたいと考えています。

デイサービスセンターしおはま
管理者 岡田 添生



各拠点からのお知らせ

しおはま

拠点
(彦島塩浜町)

介護スキルの質向上のために

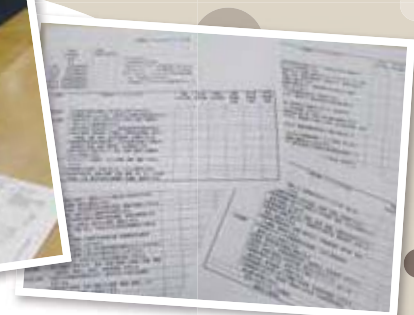
地域密着型介護老人福祉施設アイユウの苑しおはまではご利用者様やご家族様に安心・安全なサービスを提供するために、今年度は介護スキルチェック表を用いた介護スキルの自己点検と外部講師を招いた勉強会を行いました。勉強会では、上手なトロミ増粘剤の使用方法を学ぶため株式会社クリニコ様に講義をしていただきました。水分の飲み込みに問題のあるご利用者様へ水分を飲む事が苦痛にならないように正しい知識を身につける事ができ、よい学びとなりました。

介護職員はご利用者様の生活を支える上で接遇マナー、食事や入浴等の援助技術、認知症のあるご利用者様と円滑に関わる技術、緊急時に対応する技術、行事やレクリエーションを企画・運営する技術など幅広い

分野の知識と技術を常に学んでいかなければなりません。そこで、定期的に介護スキルを自己点検し、今自分が「できている」項目、「できていない」項目を介護職員全員がチェック表を使って確認し集計しました。できている項目については、よりスキルを高めるためには何が必要か振り返るよい機会となり、できていない項目が多いものに関しては、施設内研修などを実施し介護職員全員ができるように下半期でやっていきます。

これからも、ご利用者様とご家族様、地域に安心・信頼してもらえる施設を目指し、職員のサービスの質向上に努めてまいります。

地域密着型介護老人福祉施設しおはま
介護主任 岡本 裕之



各拠点からのお知らせ

ゆめ タウン

拠点
(長府ゆめタウン)

畑作業を通じて

ゆめタウン拠点は、今年で開設10年目を迎えています。その間、地域への取り組みや多くの苑外行事など、さまざまな取り組みを行ってきましたが、今でも力を入れていることとして、畑作業があります。これまでに栽培した野菜は20種類以上。ご利用者様も昔は畑仕事をしていたという方も多く、植え付け方や管理方法についてアドバイスをいただいています。

これまで、屋上と1階でのみ栽培をしていましたが、よりご利用者様が近くで成長を楽しめる環境として、今年からフロアのウッドデッキも使って、育てています。場所が近くになったことで、リビングから眺めることができ、野菜作りがより身近なものとなっています。

収穫した野菜は、ユニット調理や厨房で調理し提供しています。収穫したものを食すことも楽しみの一つではありますが、畑作業を通じて、気分転換を図ったり、昔を懐かしんだり、ウッドデッキまでの移動を歩行訓練とさ

れている方もいます。雑草を抜くことも、日常的な手のリハビリとなります。

花や野菜の成長を通じ、喜びを得ながら、身体を動かす機会が持てる、畑作業にはそんな大きな意味があると感じています。

地域密着型介護老人福祉施設ゆめタウン
主任生活相談員 中村 洋文



各拠点からのお知らせ

しおかぜ

拠点
(彦島迫町)

みんなの記憶に残る行事を

しおかぜの里保育園では、9月に地域の方や祖父母の皆様を交えてお団子パーティーを行いました。

よもぎを混ぜ緑に色付いたお団子やピンクに色付いたお団子を、「何味かな?」と話しながら、楽しそうに丸める姿が見られました。できたてのお団子を見た園児からは、「おいしそう、きれいだね」との声も聞くことができ、祖父母の皆様と一緒に、ゆったりとした時間を過ごすことができました。お団子を食べた後は、皆でほっぺをお餅に見立てた触れ合い遊びを行いました。お団子づくりだけでなくそれに関連した遊びを行うことで、今日のことが子ども達の頭の片隅に残ってくれればと思います。

しおかぜの里保育園では、10月の運動会を皮切りに、11月には焼いもパーティー、12月には餅つきと様々な季

節の行事が行われます。行事をひとつ終えるごとに、子ども達は一回りも二回りも大きくなり、心身共に成長が感じられるようになります。これからも、保護者の方々をはじめ、地域の方々のご協力も得ながら、子ども達に寄り添い、共に成長していけたらと思います。

しおかぜの里保育園
保育士 溝部 彩香





小規模多機能型居宅介護
介護職員 諏訪まゆみ
平成16年度入職 ホームヘルパー2級

入社して13年になります。10年目の時にオープンしたばかりのアイユウの苑しおはま小規模多機能型居宅介護へ異動になり、3年が経ちました。オープン当初は手探り状態で職員同士が話し合い、確認しながら業務をしてきたのがつい最近の様に感じます。

私の職場では、体操やレクリエーションの時間があるのですが、ご利用者のなかには施設の利用が初めての方もおられ、体操やレクリエーションのお声掛けをしても初めてのせいかなかなか参加していただけない方もいました。そんな時、私たち職員がご利用者様からゆっくりお話を伺う時間をもったり、ご利用者様同士が誘い合って下さったりして、行事やレクリエーションに参加していただけるようになった時は嬉しかったのを覚えています。

ご利用者様のご家族に、街でお会いした時に声を掛けていただいたり、私の名前を呼んでいただいたりした時とてもうれしく思います。また、ご利用者様のお孫様やひ孫様が面会に来られ、以前お会いした時と比べてお子さんの成長と一緒に喜んだりもしています。そういった何気無い会話や関わりが、この仕事をしていたよかったですと思う瞬間です。



松美会の人財

私たちが働いています!

今回のテーマは...

自分が成長したきっかけや、成長したと実感する時



特別養護老人ホーム アイユウの苑
介護職員 佐伯佳子
平成22年度入職 介護福祉士

介護の仕事に就いた時、最初は新しいことを覚えるばかりで毎日が精一杯だったこともあり、ご利用者様との距離を感じていたのを覚えています。仕事も覚え、一つひとつの介助を一生懸命にさせていただくうちに、少しずつご利用者様との距離が近くなりました。私が今日まで頑張ってきたのは、ご利用者様、そして、同じ現場で働く上司や他職員のお蔭です。ご利用者様の笑顔や「頑張ってね」「ありがとう」の言葉にはたくさんの元気をもらっています。そして、仕事でうまくいかないことがあったり悩んだ時もありますが、そんな時上司や他職員の皆さんに勇気をもらいました。色々な経験をして得たことを忘れず生かしていこうと思っています。

また、アイユウの苑では社内外の研修があり、それらに参加することで私にとって新しい発見があり、自分を磨く良い機会になったのは間違いありません。介護の仕事は奥が深く日々進歩しています。これからもご利用者様が笑顔で安心して過ごせる日々を送れますよう頑張っていきたいと思えます。



訪問看護サービス
看護職員 野田かおり
平成14年度入職 正看護師

病院で9年間勤務し、退職後、アイユウの苑で訪問看護に所属することになりました。病院では、作業化するケアに追われ、ご利用者様と関わる時間がなく毎日疲れ果てるそんな生活でした。病院での経験は私にとって基礎になるもので、大きな学びはたくさんありましたが、度々「このままでは良いのか…」と疑問に思うことも多くありました。その点、訪問看護では、ご自宅へ訪問している間、ケアを通しながら、ご利用者様と深く関わるすることができます。一人で訪問することが多いため、私の判断で、ご利用者様の病状が左右されるかもしれないという責任が大きい仕事ですが、その分、看護に対する興味もわき、積極的に研修などに参加し、自分の看護力を磨きたいという意欲もでてきました。

住み慣れたご自宅で生活されるご利用者様は、病院では見ることのできない表情をされています。そんな表情を見るだけで、私は、訪問看護師になって良かったと思います。また、色々なご利用者様との関わりが、私自身の価値観や、人生観へも大きな影響を与えています。今後も、たくさんの人と関わる中で、様々なことを学び、自分自身、人として大きく成長していけたらと思います。



デイサービスセンター
介護職員 中西克己
平成14年度入職 介護福祉士

私が、デイサービスの仕事を始めて10年以上の月日が経ちました。最初は、ご利用者様の名前と顔が一致しないことがよくあり困っていましたが、今では私の顔を、「最近見ないので淋しい」という言葉をご利用者様から掛けていただくようになり、嬉しい気持ちになります。

デイサービスの仕事は、ご利用者様を自宅まで送迎し、センターで入浴・食事・レクリエーションなどを行い、1日を楽しんで過ごしていただき、自立支援をサポートする仕事です。毎日、デイサービスに来られるご利用者様も違い、その日その日のご利用者様のご様子を把握しながらケアをするよう心掛けています。

普段、私が仕事において心掛けていることは、ご利用者様とのコミュニケーションです。日常生活における様々な出来事や思い出話をゆっくりお聞きするよう心掛けています。お話を伺うと、ご利用者様が歩んで来られた人生の一部を垣間見えた時、自分にとっても経験できない話に共感したり感銘を受けた時、この仕事を続けてきて良かったと思います。



自宅でできる
介護食のススメ
(その4)

栄養管理・食事サービス部
管理栄養士 吉田明香里



今回は、野菜の切り方を工夫したやわらかな肉じゃがをご紹介します。
たっぷり玉ねぎをつなぎとした肉団子にすると、より食べやすくなります。

～肉じゃが～ (4人分)

牛ひき肉 150g、ジャガイモ 150g、人参 50g、インゲン 2本

- A 玉ねぎ 100g、サラダ油 大さじ 1
 - B (卵の素) 卵黄 1個分、サラダ油 小さじ 4
 - C 薄口しょうゆ 小さじ 1、片栗粉 小さじ 1
 - D 玉ねぎ 200g、サラダ油 小さじ 2
 - E 砂糖 大さじ 2、薄口しょうゆ 大さじ 1と1/2、みりん 大さじ 1/2、酒 大さじ 1、だし汁 カップ 1/2
- 【作り方】

- ① Aの玉ねぎを3mm以下のみじん切りにし、耐熱皿に入れ、サラダ油を加えてよく混ぜる。ぬらしたクッキングペーパーを被せてラップで密閉。500Wの電子レンジで約7分間加熱し、冷ましておく。
- ② Bを泡立て器で白っぽくなるまで攪拌し(卵の素)を作る。※油は少しずつ入れる。
- ③ ボウルに牛ひき肉、①、②、Cを入れ、粘りが出るまでよくこね、一口大に丸める。
- ④ ジャガイモと人参は食べやすい大きさに(幅1.5cm、長さ3cm、厚さ2mm)の短冊切りにする。Dの玉ねぎは繊維に直角(長さ2cm、幅5mm)にカットする。
- ⑤ 鍋にサラダ油をひき、ジャガイモを炒め、さらに玉ねぎ、人参を炒める。野菜に透明感が出てきたら、③の肉団子を野菜の上のせ、クッキングペーパーを被せる。
- ⑥ Eの合わせ調味料を加え、沸騰したら弱火にして20分ほど煮る。
- ⑦ 器に盛り、茹でた薄切ったインゲンを添える。



しょう び かい
社会福祉法人 松 美 会

URL: <http://www.shoubikai.or.jp>
E-mail: fukushi@shoubikai.or.jp

◎アイユウの苑 迫(さこ)

〒750-0092 下関市彦島迫町三丁目17番2号

- 特別養護老人ホーム アイユウの苑(ショートステイ)
- アイユウの苑 デイサービスセンター
- アイユウの苑 サテライトデイサービスセンター六連島
- アイユウの苑 ホームヘルプサービス
- アイユウの苑 訪問入浴サービス
- アイユウの苑 訪問看護サービス
- アイユウの苑 ケアマネジメントセンター

Tel. 083-266-8287
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-261-1372
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-261-4337
Tel. 083-266-6501

◎アイユウの苑 田の首(たのくび)

〒750-0085 下関市彦島田の首町一丁目1番32号

- アイユウの苑 グループホーム
- アイユウの苑 デイサービスセンターしおはま

Tel. 083-266-5361
Tel. 083-266-5362

◎アイユウの苑 塩浜(しおはま)

〒750-0086 下関市彦島塩浜町三丁目14番47号

- 地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑しおはま
- 小規模多機能型居宅介護 アイユウの苑しおはま
- 住宅型有料老人ホーム アイユウの苑しおはま

Tel. 083-267-8800
Tel. 083-267-2525
Tel. 083-267-2525

◎アイユウの苑 ゆめタウン

〒752-0926 下関市長府ゆめタウン2番24号

- 地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑ゆめタウン
- アイユウの苑ゆめタウン ショートステイ

Tel. 083-249-2200
Tel. 083-249-2200

◎しおかぜの里

〒750-0092 下関市彦島迫町六丁目7番22号

- しおかぜの里保育園

Tel. 083-267-1917



社会福祉法人 松美会 アイユウの苑 は「社会福祉法人」「特別養護老人ホーム」「在宅介護サービスの複合供給体」として、日本で初めて1999年10月に品質マネジメントシステム ISO9001 の認証(審査登録)取得を実現しました。その後、システムの維持・継続的改善しながら認証取得事業所の拡大を推進しています。

【】: ISO9001 認証(審査登録)取得